

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会

会 報

第 549 号

発行日 令和 2 年 10 月 25 日

担 当 牧之原市立川崎小学校

〒 4 2 1 - 0 4 2 2

牧之原市静波 1 0 0 1 番地 1

T E L 0 5 4 8 - 2 2 - 0 0 2 7

(通級直通) 0 5 4 8 - 2 2 - 8 8 5 5

F A X 0 5 4 8 - 2 2 - 7 6 2 7

学校紹介



(現在の校舎 昭和 55 年 7 月 11 日落成)

川崎小学校は、牧之原市中東部にあります。学区の北部には牧之原の大茶園、南部には静波海水浴場があるなど、自然に恵まれた地域に位置しています。

本校では「I を伸ばし（児童の自己成長を促し）W e の世界を広げる（社会性を醸成する）」を教育指針とし、全教育課程を貫き、教職員、保護者、地域で共有しようと取り組んでいます。

教室紹介

川崎小学校は、幼児ことばの教室（コスモス）と、学齢発達通級教室（そよかぜ）2 つの通級指導教室があります。

幼児ことばの教室 コスモス



『コスモス』は平成 19 年度に開設されました。『コスモス』（担当者 3 名）には年間約 40 人の幼児が通っています。

『コスモス』の特長の一つは、困り感をもつ園児の早期発見と、保護者との相談活動に力を入れていることです。

4～6 月に市内 11 園を巡回し、主に年中児の構音検査を行っています。気になるあらわれのある園児については、園を通じて保護者に伝えてもらい、教室で行う初回相談日への参加を勧めています。相談日にはより詳しい個別の検査を行い、その後の通級や、他機関への相談につなげています。



発達通級教室 そよかぜ

本校『そよかぜ』教室は、昨年度4月に開設された発達通級指導教室です。それまで牧之原市内に発達通級指導教室は、相良小学校の『にじいろ』だけでした。『そよかぜ』が開設されてからは、市内遠方から通いやすくなったり、自校で困り感のある児童が気軽に通級体験できることで、就学支援につながったりと特別支援教育に厚みが出てきました。

『そよかぜ』には9月1日現在で13名の児童が通級しています。牧之原市は、年度途中の入級があるため、今後増えていきます。

児童の実態に合わせて、読み書き、集中力や認知力、社会性等のトレーニングをしています。また、児童から話したい思いを引き出したり、笑顔を増やしたりすることで心の解放に努めています。

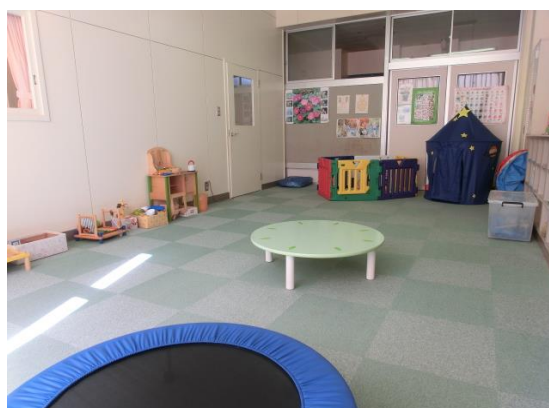
今後も各園や学校、各機関と連携し、子どもたちや保護者の心に寄り添う支援に努めていきたいと思えます。

教室風景

① コスモス教室



【トレーニングルーム】



【プレイルーム】

② そよかぜ教室



【教室前方】



【教室後方】